

甲信転居

6月18日に無事転居を終えて、広くなった事務所で業務をスタートさせました。



BW本社の研修室改修

BW本社2階の研修室を、床清掃の实地研修ができるよう床材を変更する改修を行いました。また、一度に多くの人が研修に参加できるように間仕切りの位置も変えました。今までは、研修室に入ることのできる人数が少なかったため、研修の回数が増えて負担になっている面もありました。今後は、ガラスクリーニングに加えて床清掃や日常清掃の受託も増やして、売上の拡大を図っていきます。また、高齢になったガラスクリーニングスタッフが、高所作業から床清掃へと業務をシフトしていけるようにも考えています。中部経済新聞にも記事が掲載されました。



中川運河の開発

中川運河のにぎわい再生に向けて、民間活力の導入を進める計画で、運河沿いの3か所で飲食や物販の実証事業を始めるそうです。3か所は、ささしまライブの堀留、松重閘門、長良橋近くの予定で、当社本社を囲むように3か所です。早いところでは7月には、事業者が決定するとか。中川運河沿いの護岸工事も少しずつ進んでおり、運河沿いをウォーキングできるようになると、かなり様子も変わると思うのですが。当社本社の応接室から眺める中川運河、名古屋駅や栄のビル群、鈴鹿山脈の景色は、朝、夕景、夜景もとてもきれいです。名古屋の街中では、唯一のウォーターフロントと言われる中川運河が、

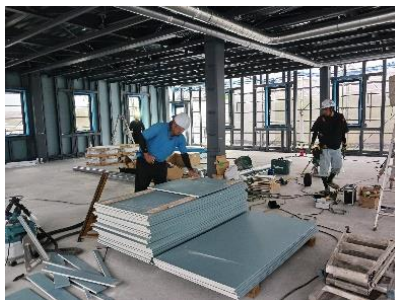
にぎわいを取り戻し、名古屋に新たな魅力が加わると良いのですが。

新しいデザインとなった防湿木炭が入荷してきました



建築進む東京西事業所

工程通り、工事を進めていただいています。倉庫棟の売却契約も済んで、だんだん引越しが近づいてきた感じがします。オフィスの内装は、自然の中にあるようなナチュラルな仕上げになる予定です。外観も本社と似た感じですが、八王子市の景観条例で本社のようなはっきりとした黒と白にはできないため、優しい感じのクリームがかった白と濃いブラウンとのツートンです。材質も本社や岐阜は、金属系サイディングですが、奈良と同様に色が豊富な窯業系サイディングから選んでいます。また、八王子市は植栽の条例も厳しい面があり、豊富な樹木が敷地内に植えられます。植栽管理は、ビルワークにお願いする予定です。



植栽管理の依頼が増加

名古屋営業所で、スタートさせた郊外

や田園地区の植栽管理の仕事が増えています。昨年度に尾張地区から、三重エリア、奈良エリア、滋賀エリアが増えだして、今年度に入り、新たに岐阜、大阪、兵庫も始まりだしました。そして、さらに、甲信越から関東方面など、エリアの拡大を図っていきます。

コラム

「細かなことをしっかり行おう」

最近、受注する工事の大型化が進んできました。昔をよく知っている人は、本当に工事の中身が変わってきたと実感していることと思います。以前は、専門工事会社として、5万円から10万円ぐらいの工事が主力で、100万円の受注があれば、完全に大型工事でした。そうした仕事では、担当者が現調から、見積、受注、工事手配、施工管理まで、一人で完遂するスタイルをとっていました。その方が、スピーディであり、お客様にとっても担当者が変わることによるコミュニケーションエラーもなく、評判よく行っていました。ただ、それは、工事規模が小さいものだから適正であったのです。工事規模が大きくなれば、一人では積算に時間がかかり、提案資料作成にも時間を要してしまいます。また、複雑な大型工事になれば、それぞれの専門家が必要になります。チームとして各人の得意分野や専門性を生かし、お客様に優れたサービスを提供していかないとはいけません。当然、小規模工事のやり方では、とても太刀打ちできません。規模、内容に合わせてやり方を変えていかないといけないのは当然のことで、昔の成功体験にとらわれてはいけません。

ただ、大切なことは、大きな工事だろうが、小さな工事だろうが、多くの人がかかわってようやく、工事の細部にわたるまで、すべて完全に把握され、手配を完璧にできていないと、必ず工事の途中で問題が発生します。技術屋として、完成したあとでは、目にするものがないような点まで、細かいところまでこだわって、工事ができているかが重要です。どんな大きな工事であっても、一つ一つの小さな工事の総和で出来上がっています。一人一人が自分の役割を責任感をもって遂行し、その工事が全体の中で、どの位置づけなのか、ちゃんと把握され、時間的(前工程・後工程)にも空間的(他工事とのとりあい)にも、別の工事に引き継がれていかないとはいけません。大きな工事だからとごっこでいいなんてことは、決してありません。大きな

工事だからこそ、細部まで検討してから工事を受注して、準備を綿密に行ってから着工しないと、その不明確で着工した一部のために他への悪影響が大きくなり、いろいろなところに迷惑をかけ、また、工期、コスト面でも悪影響を及ぼします。ですから、大きな工事になれば受注する前の事前検討に、時間を要し、当たり前ですが、それなりの実力が必要になります。そして

完成したあとで、一般の人ではわからないようなこだわりがうまく機能して、出来栄もよくなり、そして 10 年、20 年、50 年と使っていただけて、そうした様子を自分の目で確認すると、ひとりでニタッと笑顔になり、満足感や達成感を感じるものです。もちろん、若い時にした工事を、もっとこうしていれば良かったと反省することもよくあることと思いますが、それが経験を積んで

の成長というものです。建設業だけでなくビジネスをしていると、任せっぱなしで何もしていないような会社があったり、そうした批判を聞いたりすることがありますが、当社は決してそのようなにならないように、情熱や愛情をもって、細部まで目をいき届かせて、仕事をしていきたいです。

施工事例紹介

- 施工場所 神奈川県横浜市
- 工事名 ルーフテラス防水工事
- 構造 RC造



■ 担当 東京事業部 東京中央営業所 嶋方 俊哉
神奈川県横浜市のマンション/ルーフテラスの大規模改修です。横浜は海のイメージがありますが、実は山が多く斜面を利用したマンションが多く建てられています。こちらのマンションはギリシャのサントリーニ島をイメージした白を基調とした造りで、太陽光を多く取り入れられるルーフテラスが特徴です。仕上げ材に田島ルーフィング製のステップスクエアを採用し、重厚・高級感のある仕上がりとなりました。久しぶりで難しい現場での専任は楽しかったです。

入社社員紹介

- ★ 清水 雅史 設備事業部 東海統括課 50 歳
資格：1級管工事施工管理技士・宅地建物取引士・
第二種電気工事士・福祉住環境コーディネーター2級
趣味：旅行、スキー
「日々、学ぶことが多いと思いますが、積極的に頑張りますのでよろしくお願いいたします。」

ちょっと一言

「家族紹介」

東京事業部 東京西営業所
谷口 洋平



また夏がやって来ました。エアコンとビールがドヤ顔になる時期です。最近家では断酒しておりましたが、解放せざるを得ないと思う今日この頃です。

さて、今回は私の家族を簡単に紹介させていただきます。4人家族です。妻(iPhone 派(谷口家野党))は喋り出すと止まらないタイプで、喋っていても目に映るものにもすぐ反応します。例えば、何か話している途中、テレビに動物が映った瞬間「で、今日道で犬が散歩して～」・・・混乱します。接続詞違います。まるでバスに乗っていたらいつの間にかジェットコースターに乗っていた感覚です。またなぜか妻の話の聞いているとあくびが出てしまいます。本当です。この現象はおそらく脳がリラックスしている状態になっていると思われます。ただあくびをすると肩パンチされます。次に、思春期・反抗期準備期間に入った中学一年生の長男(iPhone 派(谷口家野党))です。すでに身長が我々夫婦を越えて 170cm 近くあります(生意気です)。さほど変わっていない髪型をいつも気にしています。その筋の情報ではすでに上御得意様がいたりか(時代ですかね)。最後に自分が一番ではないと気が済まない将来が少し心配な小学四年生の長女(キッズケータイ(無所属))です。私とよくゲームやランプをしますが、どんな手を使ってでも勝とうとします(心配です)。観察力に長けているようで、妻の足のネイルにもすぐ気づきます(一般人の足は見ませんよね)。以上です。

今年の夏は梅雨時期が短く、例年より気温が高くなると言われていています。皆様も熱中症には充分気をつけて、私生活も日々の業務も健康に楽しく頑張りましょう。

